

令和5年度 箕面市行政視察報告書

(総務常任委員会)

1 日程

令和6年1月23日(火)～令和6年1月24日(水)

2 視察先

(1) 福岡県小郡市

視察項目	「のるーと小郡」と「おごおり相乗りタクシー」について
視察目的	オンデマンドタクシーの実証実験中である小郡市での取り組みや、コミュニティバス事業からの変遷を学ぶことで、本市における「デマンド交通」施策検討の一助とするもの。

(2) 福岡県福岡市

視察項目	福岡都市圏における生活交通について
視察目的	オンデマンド交通だけでなく生活交通の確保という課題解決にむけ取り組んでいる福岡市での事例を学ぶことで、本市における持続可能な「デマンド交通」施策検討の一助とするもの。

3 参加者

委員	川上加津子委員長、楠政則副委員長、神田隆生委員、山根ひとみ委員、藤田貴支委員、内海辰郷委員
----	---

(1) 福岡県 小郡市

項目	内容	備考
<p>「のるーと小郡」と「おごおり相乗りタクシー」について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンデマンドタクシー運行までの経緯 <ul style="list-style-type: none"> 平成 16 年度 コミュニティバス運行開始 平成 30 年度 活性化協議会の設置・調査 平成 31 年度 運行改正 令和 2 年度 デマンドタクシー実証実験（コミバス運行） 令和 3 年度 デマンドタクシー実証実験（コミバス運休） 令和 4 年度 デマンドタクシー本格運行（コミバス廃止） 令和 5 年度 AI 活用型オンデマンドタクシー実証実験 ・ それぞれの事業のねらい <ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティバス <ul style="list-style-type: none"> 福祉目的で運行、利用者の減少により廃止 ○おごおり相乗りタクシー（デマンドタクシー） <ul style="list-style-type: none"> 東西・南北に縦横断する鉄道駅周辺外の地域補完 ○AI 活用型オンデマンドタクシー（のるーと） <ul style="list-style-type: none"> コミュニティバス廃止後の新たな交通手段 ・ ライドシェアについて <ul style="list-style-type: none"> →実証実験中のため未だに踏み込んだ議論はない ・ 定期券などについて <ul style="list-style-type: none"> →車両の独占につながるために設定はしていないが、割引制度は設けている ・ 地元の交通事業者との調整について <ul style="list-style-type: none"> →影響のない地域から事象実験を行い、影響範囲を確認したうえで調整を実施（3 事業者） ・ システムについての必須条件について <ul style="list-style-type: none"> →ドア to ドア・リアルタイム予約・距離別料金設定 	<p><説明> 小郡市 都市計画課 課長補佐</p>



所 感

- 地域の特性を勘案したうえでのシステム設計や交通事業者との協議、またわかりやすい指標設定による事業変更など、本市も学ぶべきところが多々あった。
- 事業遂行のために必死に動き業務を遂行する熱と力を感じた。

(2) 福岡県 福岡市

項 目	内 容	備 考
<p>福岡都市圏における生活交通について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福岡市の現況 全国的な状況と同じく、人口減少や高齢化により公共交通を取り巻く現況は厳しく、近年では高度成長期に開発された住宅地の高齢化が顕著であり、丘陵地など公共交通の届かない地域での生活交通の確保が急務である ・ バス利用の状況 新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少した ・ 公共交通空白地等に関する施策の状況 コロナ禍以前より「公共交通空白地等及び移動制約者に関する生活交通の確保に関する条例」(H22.12.28 施行) により以下の対策を実施 <ul style="list-style-type: none"> ① 休廃止対策…休廃止路線への代替交通運行経費補助 ② 不便地対策…地域主体の検討経費・交通事業者が行う試行、運行経費の補助 ③ 生活交通確保支援…地域と交通事業者間の調整などの活動支援 	<p><説明> 福岡市 都市計画部 交通計画課長</p>

	<p>・各施策の取組み状況</p> <p>① 休廃止路線対策の状況…現在5路線について対策中</p> <p>② 不便地対策…3路線について対策を実施、1路線は試行運行が終了している</p> <p>③ 生活交通確保支援路線…6路線について対策を実施、3路線は本格運用となっている</p> <p>・オンデマンド交通社会実験（チョイソコ）</p> <p>持続可能な生活交通確保の仕組みづくりの一つとして令和4年度より社会実験を実施している</p> <p>・各エリアの取組みについて</p> <p>市と共同で主体的に取り組む地域・交通事業者を募集し、現在3エリアで社会実験を実施中であり、各エリアで運行協議会を設置し、運行内容や利用促進などの協議・検討に取り組んでいる</p> <p>・事業の目標値（指標）について</p> <p>事業として必要不可欠であるため、設定はしていない</p>	
--	---	--



所 感

○主体的に取り組む地域、運行业者を別で募集し運行を実施、そのうえで運行協議会を設置する実施体制が、地域独自の交通ネットワークを維持するうえで重要な事例であると感じた。